

中期目標の達成状況に関する評価結果

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 《判定結果一覧表》 計画番号 1-1-1-1、1-2-2-4、1-2-3-1、1-3-1-3、 1-3-1-4、2-1-1-1、2-2-1-2、3-2-1-2、 3-2-1-3、3-3-2-1</p> <p>【申立内容】 自己判定において、（優れた点）を記載して「良好」としたものの多くの計画で「おおむね良好」との判定になっている。特に〈特記すべき点〉に（特色ある点）を取り上げて頂いているにもかかわらず「おおむね良好」と判断されている計画がある。本学での大学運営の改善に活かすため、これらの点について「良好」に至らなかった判断理由を本学にフィードバックしていただきたい。</p> <p>【理由】 本学では、中期計画に基づいて各部局が6年間の工程表を策定し、それぞれの特色を活かした活動で、中期計画の達成を目指している。その一環として、毎年自己点検評価を実施し、課題を洗い出すことによりPDCAを転回させ大学の教育研究活動等の改善に活かしている。 このため、今回の評価結果を次の改善に活かすためにも「良好」に至らなかった点について具体的に開示していただきたい。</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 当該中期計画に係る取組がなされているものの、達成状況報告書等からはその成果が「優れている」とまでは確認できない。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称： 7・理工学研究科

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育の水準 分析項目 I 教育活動の状況 観点1-1「教育実施体制」 [判断理由]</p> <p>【原文】 「・・・平成27年度に6専攻を3専攻へ改組している。」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「・・・平成27年度に6専攻を3専攻へ改組する申請を行い、認可された。」</p> <p>【理由】 本研究科においては、平成28年度に6専攻を3専攻へ改組する申請が、平成27年8月に認可されている。原文では27年度に改組したと読み取れることから、より正確な表現に変更したい。 (達成状況報告書p. 59 計画1-2-3-2参照)</p>	<p>【対応】 判断理由の以下の部分を削除する。</p> <p>○ 博士後期課程では、地域にある世界的な大強度陽子加速器施設や地場企業等に必要とされる人材を育成するため、平成27年度に6専攻を3専攻へ改組している。</p> <p>【理由】 意見の内容は、現況調査表等に記載された内容と相違している。</p>